

豆類(種実・未成熟)・雑穀類・稲・麦類・とうもろこし・  
 飼料用とうもろこし・ソルガム・ひまわり等播種時の鳥害防止忌避剤  
 だいず・えだまめ紫斑病・あずき炭疽病・褐斑病・ピシウム苗立枯病・  
 ひまわり苗立枯病・いんげんまめ炭疽病・とうもろこしピシウム苗立枯病・  
 大麦斑葉病・網斑病・小麦なまぐさ黒穂病・紅色雪腐病の種子消毒剤  
 稲の種子消毒剤(兼)鳥類食害防止忌避剤

農林水産省登録第20604号

# キヒゲン<sup>®</sup>R-2フロアブル

有効成分:チウラム水和剤 [TMTD 40.0%・その他の成分 60.0%]

本剤には樹脂が含まれており、種子に塗沫した薬剤は樹脂皮膜によって保護されるため、激しい雨や冠水でも塗沫物質が落ちることはありません。そのため、種子消毒による病害感染防止及び土壌中の種子腐敗防止による発芽率の向上が可能。又、播種時の鳥類・タネバエの食害防止の両方に高い効果を発揮します。

## だいず



(特長は表紙裏に記載しております。)

## 飼料用とうもろこし



### 【適用病害・害虫・鳥害の範囲及び使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チウラムを含む農業の総使用回数
稲	いもち病 ばか苗病 ごま葉枯病 苗立枯病(ピシウム菌)	乾燥種子 1kg当り 原液 20ml	は種前	1回	塗沫処理	1回
大麦	網斑病、斑葉病					
小麦	なまぐさ黒穂病 紅色雪腐病 ヤギシロトビムシ					
だいず えだまめ	苗立枯病、紫斑病 タネバエ					
あずき	苗立枯病、炭疽病 褐斑病、タネバエ					
いんげんまめ	苗立枯病、炭疽病 タネバエ					
豆類(未成熟、 ただし、えだまめ を除く) 豆類(種実、 ただし、だいず、 あずき、いんげん まめを除く)	苗立枯病 タネバエ					
ひまわり	苗立枯病					
とうもろこし 飼料用とうもろこし						
						2回以内

作物名	適用害獣名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チウラムを含む農業の総使用回数					
稲	スズメ ハト キジバト カラス カワラヒワ	乾燥種子 1kg当り 原液 20ml	は種前	1回	塗沫処理	1回					
麦類	ハト キジ スズメ										
いんげんまめ えんどうまめ	ハト カラス キジバト										
豆類(未成熟) 豆類(種実、 ただし、いんげん まめ、えんどうま めを除く)	ハト カラス										
ひまわり	カラス ムクドリ ハト										
雑穀類 (とうもろこしを除く)	カラス キジ ハト										
とうもろこし 飼料用とうもろこし	キジバト ムクドリ スズメ										
ソルガム	スズメ										
											2回以内

製造元

YCC 米澤化学株式会社

# キヒゲン<sup>®</sup>R-2フロアブルに就いて

キヒゲンR-2フロアブルは従来のキヒゲン水和剤の粉末と赤色識別剤との詰合せで、其々種子に二度粉衣処理の手間が掛かり、特にキヒゲン水和剤の取出し時及び粉衣には、チウラムの粉立ちによる眼、鼻、皮膚等に刺激が強く、作業性が悪く且つ種子粉衣むらが生じましたが、この欠点を補い且つ種子コーティングのむらを改善し、作業性を容易に致しました。又、農薬登録の適用範囲を大幅に拡大致して居ります。

## 特 長

- ①キヒゲンR-2フロアブルが、総ての豆類(種実・未成熟)及び雑穀類の種子の播種前塗沫処理が使用可能となりました。
- ②豆類(種実・未成熟)・とうもろこし・小麦・大麦・稲の種子消毒(兼)鳥害防止に効果を発揮します。
- ③だいず・えだまめ等の発芽時、子葉が赤く着色して発芽するので、鳥類の食害を防止します。
- ④稲の陸稲及び乾田直播の場合本剤塗沫により、いもち病・ばか苗病・ごま葉枯病の種子消毒と播種時の鳥類食害防除が同時に可能です。
- ⑤播種時、発芽時に塗沫種子が赤くて苦味があるため、鳥類の食害を防止します。
- ⑥とうもろこし等茎発芽種子の場合、カラス等が引抜等のいたづらをするとき、地中の種子が赤いため驚いていたづらをしなくなります。
- ⑦播種子のタネバエ食害防止に効果があります。
- ⑧秋蒔小麦に対し種子消毒効果が高く、腐敗し難い為、ヤギシロトビムシの被害が極めて少なく小麦の発芽率が高い。
- ⑨播種後苗立枯病・ピシウム苗立枯病等土壌中の雑菌感染を防ぎ、種子腐敗を抑制するため発芽率が高まります。
- ⑩寒冷地域では播種後土壌中の種子腐敗によって発芽しなくなるのを防ぎます。
- ⑪稲・麦類の播種時鳥類食害による減量分を余分に播く必要がなく、種子代が軽減できます。
- ⑫10a当たりの種子処理費用が非常に安くつきます。(200mlで10kgの種子が処理できます。)

## 種子塗沫の方法

1. 予め種子をポリ袋(5~10kg入)に入れた後、本剤を種子重量の2%相当を入れて袋を上下左右に充分振る方法。
2. ポリ容器、桶等に予め種子を入れ不浸透性長手袋をした手又は棒で種子を混ぜ乍ら本剤を徐々に加えてかき混ぜる方法。
3. 種子粉衣機に予め種子を入れ、回転し乍ら本剤2%相当を徐々に加えて塗沫する方法。この場合、塗沫後投入口に温風機又は、扇風機で送風し乍ら回転乾燥すると便利です。  
尚1~3の方法で種子塗沫した種子はビニール・ムシロ等の敷物に塗沫種子を広げて風乾後播種して下さい。

## 使用上の注意事項

- 本剤を使用する場合は、粘度が高いため袋をよく振ってから取り出し、適当な容器内で種子をかき混ぜながら薬液を滴下するなどして種子に均一に薬液を付着させること。又、種子塗沫量は薬効に影響するので必ず2%塗沫を厳守下さい。
- 小麦に使用する場合、誤って所定より多量に処理すると発芽抑制を生ずる恐れがあるので注意すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤処理後、何らかの都合で播種出来なかつても、数ヶ月間の保存後の播種をしても何ら発芽に影響はない。
- 本剤と根粒菌との混用使用は可能です。(根粒菌の使用はキヒゲンR-2フロアブル処理後が影響が少ない。)
- 塗沫に使用した容器・機械は、付着物の乾燥後の洗浄は落ち難くなるので、乾かない内に直ちに水洗して下さい。
- 本剤による水稻直播試験の場合、陸稲・乾田直播及び不耕起直播には有効ですが、湛水直播には赤色が溶出して薬効が弱くなるので注意して下さい。

## 解毒方法

- ①誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。  
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- ②本剤は眼に対して刺激性があるので目に入らないよう注意すること。  
目に入った場合には十分に水洗いし、眼科医の手当を受けること。  
使用後は洗眼すること。
- ③使用の際は、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
- ④かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意すること。
- ⑤本剤で使用した種子は食料や動物飼料として用いないこと。

## 水産動植物

- ①本剤は水産動物に強い影響を及ぼすので、河川、湖沼、海域及び養殖池に本剤が飛散・流入する恐れのある場所では使用しないこと。
- ②塗布器具・容器の洗浄水及び残りの薬液は、河川等に流さず、周囲に影響のない地点を選定して、土壌表面に散布する等の処理を行い、容器、空き袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理すること。

## 貯蔵上の注意事項

直射日光を避け、子供の手に触れないなるべく低温な場所に密封して保管すること。  
寒冷地域での本剤保存温度は-10℃以上の処で保管下さい。もし凍結させたとと思われる場合は、使用時袋を上下に振ったり揉んで均一にして使用下さい。解凍後の使用には何ら影響はありません。